



広装協

組合だより

[65号]

広島県室内装飾事業協同組合

広島市西区三篠町1丁目7番4号
〒733-0003 TEL (082) 239-9281
FAX (082) 239-9282

発行責任者 教育情報内装士部委員会
委員長 小林 修

広装協 第52回通常総会の開催

広島県室内装飾事業協同組合の「第52回通常総会」を、5月27日午後3時30分から、広島市中区のリーガロイヤルホテル広島で開催した。

今総会では任期満了に伴う役員改選が行われ、理事13名、監事2名が選出され、理事長には竹内剛氏（竹内装飾(株)代表取締役）を選任した。

前年度の事業報告、同決算報告の承認、新年度事業計画、同予算及び会費の賦課、徴収方法並びに短期借入金最高限度額の設定についてはいずれも原案どおり可決した。

総会は、午後3時30分

入った。

方法の決定」について、

と決定した。

藤光雄二理事の進行で開会し、小林修理事が総会の成立宣言を行った後、若山柁夫理事長が挨拶。

「平成27年度決算関係の承認並びに監査報告」では、小田和男専務理事が事業報告と決算報告を行った。これを受け村井研一監事から監査報告があり、承認された。

「平成28年度事業計画及び収支予算の決定」平成28年度会費賦課、徴収方法の決定について、黒田明副理事長が説明し、原案どおり可決した。

「平成28年度短期借入金最高限度額の設定」については、官公署及びそれに準ずる団体からの補助事業で補助金の後払いになる場合があるため、万一を想定し最高限度額を前年同様8百万円と決定した。

「役員改選」は、指名推薦制をとることとし、会場より選任された選考委員が理事13名、監事2名を推薦し、満場一致で承認した。

総会は一時休会とし、新理事による理事会を開催して、三役を互選、理事長には竹内剛氏（竹内

装飾(株)代表取締役）が選任され、副理事長には藤光雄二氏（インテリア丸装(株)代表取締役）と岡田展政氏（丸マルケン装飾代表取締役）、専務理事には濱本宏和氏（有インテリアケンソウ代表取締役）が選任された。

議長は、新三役を議場へ報告した。

総会では全ての審議を終了し、新理事長の竹内剛

午後8時に藤光雄二新副理事長の中締めで滞りなく終了した。

開宴にあたり、賛助会員のロンシール工業(株)建築事業部広島営業所小波誠所長の発声で宴に入った。

和やかな雰囲気での懇談が続くなか、賛助会員各社の出席者から自己紹介とPRをしていただいた。

午後8時に藤光雄二新副理事長の中締めで滞りなく終了した。

開宴にあたり、賛助会員のロンシール工業(株)建築事業部広島営業所小波誠所長の発声で宴に入った。

和やかな雰囲気での懇談が続くなか、賛助会員各社の出席者から自己紹介とPRをしていただいた。

午後8時に藤光雄二新副理事長の中締めで滞りなく終了した。

午後8時に藤光雄二新副理事長の中締めで滞りなく終了した。

午後8時に藤光雄二新副理事長の中締めで滞りなく終了した。

午後8時に藤光雄二新副理事長の中締めで滞りなく終了した。

午後8時に藤光雄二新副理事長の中締めで滞りなく終了した。

午後8時に藤光雄二新副理事長の中締めで滞りなく終了した。

理事長 あいさつ



若山理事長

本日は皆様方お忙しい中を、第52回通常総会にご出席いただき誠に有難うございます。

ご来賓としてご臨席を賜りました広島県中小企業団体中央会 情報調査部主事藤原様には、日頃より暖かいご指導をいただき深く感謝申し上げます。

さて、我が国の経済

は、ゆるやかな回復基調にあるといわれています。

行政からも「公共工事設計労務単価」で、本県の内装工は20,000円に引き上げていただき

は、人手・人材不足の状況が続いていますし、景

況が続いていますし、景

況が続いていますし、景

況が続いていますし、景

況が続いていますし、景

況が続いていますし、景

況が続いていますし、景

況が続いていますし、景

況が続いていますし、景

況が続いていますし、景



春夏秋冬

5月27日夕刻、アメリカのオバマ大統領が広島を訪れ、平和記念公園より世界に向けて「核なき世界」のメッセージを発信した歴史的なその日、当組合も第52回通常総会を開催し、新しい体制でのスタートを切りました。

新理事長は、50歳の若さでの就任であり、新理事13名のうち約半数が40歳代に変わり、そのうち7名は青年部会の出身です。

これは全国の装飾組合の中では、一番若い理事長と役員平均年齢となるのではないだろうか。組合を盛り上げて行くには、今後はもっと多くの方が組合活動に参加して貰えるような魅力ある企画

も必要となります。
今後の若く力強い手腕に大いに期待したいと思います。
会社を創業された方には、団塊の世代クラスの年齢の経営者が多く、現在はその御子息が2代目の経営者となっておられる企業を多く見受けられます。

若い力で魅力ある業界に!!

初代は、高度成長期の波にも乗れ、売上げも利益も伸ばし経営を軌道に乗せるため、業者同士のバッシングも激しく受注競争は熾烈を極めました。
その為、業者同士の結びつきは

弱かったのではないだろうか。
そして、経営が2代目に継承されると、仕事量は変わらずあれど、思うような利益が残せず現場の受注から完工に至る過程は厳しい事柄が多々要求されるようになりました。しかし、それは業界における時代の要請であり受け入れ

た2代目の経営者の素晴らしい所は、競争はあれど、業者同士の横のつながりを大切に、時には施工応援も行いつつ、共に知恵を出し合い積極的に業界やしきたりを変えていこうとする姿勢です。それは競争から共生へと変わりつつあると感じます。常に変化し続けるには、過去を否定する勇気を持ち新しい挑戦をする事が必要だと思います。

組合・理事 小林 修

日装連内装士認定証交付式

日装連内装士認定証交付式は「第52回通常総会」の後、永年勤続従業員表彰式に先立ち木佐貫良彦理事の進行により行った。



永年勤続従業員表彰式

日装連内装士認定証交付式に引き続き、平成28年度永年勤続従業員表彰式を木佐貫良彦理事の進行により行った。
この永年勤続従業員表彰は、多年業界発展のため

に努力された従業員の労をねぎらうとともに誇りと自覚を与え、全従業員にはこれにより志気を鼓舞し、優秀な技術者や職員の定着率の向上に役立てるために実施して

おり、今年度は20年勤続者8名、10年勤続者9名、に若山理事長から表彰状及び記念品を贈呈し表彰した。
この後若山理事長が挨拶し、来賓の広島県職業能力開発協会技能検定グループマネージャーの上加潤氏から祝辞をいただいた後、受賞者を代表して松本 伸氏（青山装飾(株)所属）が謝辞を述べ滞りなく終了した。

会員の動向

☆新会員の紹介

★正組合員

- ◎有限会社モリ内装
・代表者 森 令子
・住所 広島市安佐南区大塚西7丁目16-31
・電話 082-848-9915
・FAX 082-848-9916
- ◎有限会社エコバレット
・代表者 齋藤 健彦
・住所 広島市中区光南2丁目20-18
・電話 082-240-6680
・FAX 082-240-6681

- ◎有限会社「E」不動産
・代表者 杉本 純吾
・住所 広島県府中市須町686-1
・電話 0847-52-3711
・FAX 0847-52-3715

- ◎有限会社道興装飾
・代表者 道興 和三
・住所 安芸高田市吉田町上入江33-1
・電話 0826-43-0304
・FAX 0826-43-0369

- ◎株式会社I・CUBE
・代表者 岩川 正義
・住所 広島市西区三篠町3丁目23-9
・電話 082-509-1226
・FAX 082-509-1227

- ◎株式会社ブリーク
・代表者 木村 由実
・住所 広島市中区中町4-6オフィス中町101
・電話 082-258-5433
・FAX 082-258-5413

- ◎株式会社TAKEMOTO Kousya
・代表者 竹本 和夫
・住所 広島市西区商工センター6丁目6-27
・電話 082-270-3792
・FAX 082-270-2938

★准組合員

- ◎すぎき住装
・代表者 鈴木 克則
・住所 広島市安佐北区亀山南3丁目20-10
・電話 082-812-0717
・FAX 082-812-0717

- ◎インテリアイール
・代表者 飯原 綾太
・住所 広島市中区富士見町9-20
・電話 090-7379-6840
・FAX 082-569-8387

- ◎浅田内装
・代表者 浅田 基延
・住所 広島市西区南観音7丁目2-1
・電話 082-548-2452
・FAX 082-548-2452

永年勤続従業員受賞者名簿

氏名	事業所名	勤続年数
松本 伸	青山装飾(株)	20
青山 直樹	青山装飾(株)	20
渡壁 直之	(株)池田ハルク	20
村上 公規	(株)池田ハルク	20
岡本 栄人	(株)池田ハルク	20
早川 麻未	(株)池田ハルク	20
竹内 浩一	竹内装飾(株)	20
竹内 三千代	竹内装飾(株)	20
増原 京子	(株)池田ハルク	10
原田 望	(株)池田ハルク	10
川本 博隆	(株)池田ハルク	10
平井 美佳	(株)池田ハルク	10
村上 恵子	(株)池田ハルク	10
池内 伸二	シンコー広島(株)	10
柳本 利枝	シンコー広島(株)	10
兼本 剛司	シンコー広島(株)	10
尾熊 信昭	(株)マルケン装飾	10

青年部会活動

青年部会

平成28年度通常総会の開催

青年部会では『平成28年度通常総会』を5月20日（金）午後4時から、広島市中区リーガロイヤルホテル広島で開催した。

総会への出席は、会員18名、29名中委任状11名、組合から若山柁夫理事長、黒田明副理事長、渡辺悦司副理事長、米山福司事務局長が出席した。

総会は、午後4時に平野崇理事（株池田ハルク）の進行で開会し、田浦慶太（有インテリアウ）部会長が挨拶。

続いて、組合の若山柁夫理事長が祝辞を述べた後、規約に基づき田浦慶太部会長が議長となり議事に入った。

第1号議案「平成27年度事業報告及び決算報告並びに監査報告について」では、青山和之副部会長（青山装飾）が事業報告、吉岡猛副部会長（有スペース・デコ）が決算報告を行い、横田幸一郎監事（有マキタ・エンタープライズ）が監査報告を行った後、満場一致で承認された。

第2号議案「平成28年度事業計画（案）及び収支予算（案）の決定について」では、吉岡猛副部会長が事業計画案、青山和之副部会長が収支予算案を説明し、原案どおり可決した。

第3号議案「役員改選について」は指名推薦により、理事6名と監事1名が選出された後、互選により新部会長に吉岡猛氏を選任。副部会長に青山和之氏と佐々木健氏（株インテリアヒロ）が選出された。

総会は午後4時30分に審議を終了し、吉岡猛新部会長が今年度の活動方針を発表し総会を終了した。

続いて行われた懇親会は池田君美（M・A・D・O）新理事の司会進行で開会し、吉岡猛新部会長が挨拶した後、組合の黒田明副理事長が祝辞を述べ、渡辺悦司副理事長の乾杯で宴に入った。

和やかな懇談の中、新しく入会された松村大地氏（有ティーエムプランニング）が紹介され、入会の抱負を述べた。

最後に青山和之副部会長が挨拶をして閉会した。



新部会長挨拶

（有）スペース・デコ 吉岡 猛



平成28年5月20日（金）に青年部会通常総会を開催し、部会長に選任されました。私は、副部会長を3期6年させていただき歴代部会長の大変さを実感してきました。全国的にも規模が大きく、活動が盛んな広島県の青年部会を盛り上げていくつもりです。

平成28年度 青年部会活動方針

『我々の次世代となる若者に内装業の魅力をアピールし、業界への参入を促す』

昨今、建設業界全体の問題である高齢化と職人不足。これは、我々の業界でも近年顕著になって表れております。青年部会として、この問題に積極的に取り組みたいと思います。

まずは我々の次世代となる若者を知ることが必要であると考えます。

そのために、内装業の魅力をアピールする場を設け交流を通して彼らの特徴・性質を知ることにつなげたいと思います。

『自分が若いときはこうだったとか今どきの若者は』とか、エゴを押し付けるのではなく柔軟な対応力を身に付け人材育成に力を尽くしましょう。

活動テーマ

- 1、業界のイメージアップ
- 2、業界のアピール
- 3、人材確保
- 4、業界の和の拡大
- 5、相互成長

新副部会長挨拶

（株）インテリアヒロ 佐々木 健



今年度より広島県室内装飾事業協同組合青年部会の副部会長をさせていただきます。インテリアヒロ 佐々木 健です。

青年部会に入会させてもらい3年目になります。以前にボランティアアリー

新理事挨拶

M・A・D・O（株）池田 君美



この度 組合青年部理事を務めさせていただくことになりました。

私のようなものが理事という役職をいただくことは大変恐縮ですが同じ業界の若手経営者の方々と同じラインに立っていることを大変うれしく思います。

私を含め青年部会理事の

『知覧特攻平和会館』

（株）池田ハルク 平野 崇

広島県室内装飾事業協同組合青年部会の今年の研修旅行は鹿児島県です。

今回の旅行のおそらくメイン先である（私自身では）知覧特攻平和会館は旅程1日目に参りました。戦争を知らない我々世代でも必ず一度は耳にしたことがある神風特攻隊。

ちなみに神風特攻隊、正式には神風特別攻撃隊は海軍の特別攻撃隊であり、知覧は陸軍の特別攻撃隊で名称を振舞隊と言います。神風特攻隊を題材とし製作された映画は百田尚樹氏原作の『永遠の0』

が有名であり、振舞隊を題材とした映画は石原慎太郎氏が脚本を手がけた『俺は、君のためにこそ死にに行く』が代表作とされます。私は両作品とも観ておりました。今度の平和会館での隊員の直筆の手紙、遺書を拝読することは楽しみにしております。特別な感覚でありました。

入場して間もなく語り部による講話が始まりました。以前行った知人より語り部の話は絶対に聞いておいたほうが良い、と聞いておりましたので展示物を閲覧する前に聞きに行く事にしました。

語り部の話は約30分ほどで、大東亜戦争の始まりから特攻作戦に至る経緯、陸軍知覧飛行場近くで富屋食堂を営

ことと確信しております。そのために、閉鎖的な業界環境を打破し、今以上にビジネスの視野を広げ『広島県室内装飾事業協同組合』の認知度をあげていくべきだとも思います。地方都市からの発信で全国への啓蒙活動も可能です。

知ってほしい、理解してほしい、選ばれる業界。選ばれたい企業。選ばれる自身。その先には、新たなビジネスの市場を見えてくることでしょう。

まずは2年という期間での就任ですが、皆様のご指導のもと業界の発展のために最大限の努力をしたいと思います。

なにとぞよろしくお願いいたします。

敵の艦隊に体当たりして沈めよう。全特攻戦死者1,036名。この知覧飛行場から飛び立った隊員は実に439名。全員が半数近くがこの知覧基地から出撃しています。隊員の年齢は17歳から25歳と若い。選ばれた隊員は、その瞬間から死と向き合う事となります。若くは彼らが最後に何を思い、死をどう捉えていたのか。

拝読する中まず思ったのが、どの手紙のどの字とも立派な文字で書かれており、鉛筆書きのものも数点あったが、ほとんどが筆で書かれておりその全てが達筆である。最後の手紙なので丁寧に丁寧に書いていた。あるが、とてもその年齢で書ける字ではない、と字の汚い私などは特に強く感じました。

遺書はほとんどが家族に宛てられたもので、特に母親に宛てた手紙が多かった。流石、仲間同士でじゃれ合う姿や、手紙を書いている様子、中でも一番目を引いたのが出品と観ておりました。私には悲観的な顔をしている者が誰一人おらず、子犬を抱いて皆で笑い合っている一枚の写真は今思い出しても自然と涙が溢れます。

この平和会館の展示物の約6割は手紙、遺書だとされています。限られた時間の全中を拝読する事は到底無理であり、流し読みが主になり、気になった文章を数点じっくりと読ませてもらう事にしました。

航空特攻作戦とは250kgの爆弾を装着した戦闘機で

ぶり涙が溢れてきたのは言うまでもなく、しかしかわいそう、とかそういった感情ではなく、国を想い、家族を想い、この国の将来を想い自分の命を捧げる、その精神の崇高さに心を打たれたのだと自分自身では感じています。

平和会館を後にし、バスで車窓から見た開聞岳。標高924mで薩摩富士とも呼ばれる円錐型の威風堂々としたこの山を、知覧を飛び立った若者達は最後に目に焼きつけ、沖繩に向かったと言われています。その71年後の今この時私はバスで車窓から同じ風景

を見ています。

世界で唯一の被爆国日本。その被爆地広島で育った我々にとつて決して忘れられない日がこの研修旅行の1週間前でありました。

普段忘れがちな平和に對しての意識が高まったこのタイミングでこの地を訪れる事が出来た事に大変感謝いたします。今回の研修旅行を忙し

いながらも、段取りよく頂いた田浦理事はじめ、関係各位の方々

に改めて感謝申し上げます。今後の組合活動に役立てたいければと思っております。ありがとうございます。

青年部会員の世です！毎年恒例の青年部会研修旅行に初参加と言う事で、レポートにまとめました。

14名の青年部会研修旅行は今年約半数の部会員が揃い、新幹線に乗って広島を出発、道中、九州新幹線熊本ー新八代間で徐行運転が行われ、熊本地震の影響を少し受けながら鹿児島へ到着しました。

鹿児島市の空はあじろの雨、バスに揺られ鹿児島市内の雨、物産館、知覧特攻平和祈念館へと移動しました。

『視察研修』

（有）セラケンサービス 世良 和彦

食事、その中の1品に『スジアラ』という魚の刺身が！！

広島では余り馴染みの無い魚で、少し前に築地で話題になったババハタ（有毒魚）に良く似た魚と聞けば分りやすい？

2日目は霧島神宮、高千穂峠、赤水から桜島と右回りのルートで視察しました。終始雨が続く。景色は残念。そんな天気でも南洲墓地（西郷隆盛墓）で出会った鹿児島のおっちゃんばっちゃんに『よくおいで〜いい〜いい〜』とお茶でも飲んで〜お隣崎県民も聞き取るのは大変らしいそう。

この青年部会を盛り上げる恒例行事として初参加させて頂き、今回は二日間の研修旅行に初めまして、この研修旅行に初めてお会いした方も、優しく接していただき、青年部会に入会して良かったと思えました。

また、これからの青年部会の取り組みに積極的に参加し、この業界をもっと盛り上げられるよう頑張りたいと思います。

バスで昼食会場へと向かい、会場で『かごしま茶美豚（チャーミートン）のしゃぶしゃぶ』が用意されており、また種類豊富なお酒コーナーも設けられました。おいしい昼食を堪能した後は、知覧にある特攻平和祈念館で、過去に起こった第二次世界大戦（沖繩戦）について学びました。

館内には、遺品や若き特攻隊員の遺書などが多く展示

されており、戦争の重みを感じました。その後は、池田湖・開聞岳を通り最後の目的地、長崎県へと向かいました。ここは竜宮伝説発祥の地ともされており、乙姫様を祀った龍宮神社があります。残念ながらやや天候が悪く、少し雲のかかった開聞岳となりましたが、綺麗な三角形でとても迫力がありました。1日目の研修内容が終わり、宿泊先のある鹿児島県中心部へと戻り、リッツ（株）鹿児島営業所長様と夕食をとりました。

2日目は、焼酎工場の見学から始まり、霧島神宮へと向かいました。本殿の側には高さ33m、推定樹齢800年というとても大きな杉の木が立っていました。昼食は、黒酢の郷で有名な杓志田でいただきました。黒酢がきく、ここで所有する壺の数は約20,000壺と聞き、規模の大きさに驚きました。いただいた料理には、すべて黒酢が使われており、とても新鮮でした。午後からは、桜島をすぐ側で眺められる、湯の平展望所へ行きました。ですがこの日も天気が悪く、残念ながら雲に包まれており頂上まで眺めることができませんでした。最後は、桜島からフェリーで鹿児島市内へと戻り、南洲墓地にある西郷隆盛の墓をガイドの方に詳しく説明していただきました。とても勉強になりました。

